



シンビジウム



藤岡市は関東を代表するシンビジウムの産地で、市内では、約50~60の品種が栽培されています。お正月飾りやプレゼント用の切り花として、都内の市場を経由して、全国各地に出荷されているほか、ららん藤岡では、特産品として販売しています。



中山 一真さん



ふじ娘トマト



ふじ娘トマトは、JAたのふじのブランドトマトです。トマト栽培は雨や湿気が大敵のため、空気が乾燥している冬から春にかけて、ハウスで栽培されています。ふじ娘トマトは、果肉がしっかりと詰まり、甘みと酸味のバランスが良いのが特徴です。



秋山 信也さん



藤岡瓦



藤岡市一帯は、良質な粘土に恵まれ、古くから土器や埴輪、瓦の一大産地として発展しました。藤岡瓦は1200年余りの歴史と伝統があり、邪気を払う鬼気迫る表情が特徴の鬼面瓦が有名です。いぶし銀の重厚な光沢を持つ、魔よけの表札が人気です。



山口 茂さん



地酒



豊富でおいしい水に恵まれていることから、2軒の蔵元が地酒を醸造しています。高井酒造の「蔵」「上州の寒梅」、松屋酒造の「平井城」「當選」です。松屋酒造では、正規特約店のみで販売している「流輝」シリーズなど、新しい酒づくりにもチャレンジしています。



松原 広幸さん



We are FUJIOKA.

イトコ!

「We LOVE ふじおか」なユウ・キョウ・「IT」。

新しいことに
チャレンジする
元気な人

作付面積県内1位
「やよいひめ」プロジェクト始動

やよいひめは、群馬で生まれたイチゴです。平成17年に品種登録され、現在では北海道から沖縄まで全国で栽培されています。

藤岡市は、やよいひめの作付面積が県内1位のイチゴの産地です。藤岡市では、イチゴ農園団地整備を進め、藤岡市とやよいひめの知名度アップを図る「やよいひめ」プロジェクト事業を構想しています。



持続可能農業の実現へ
農業経営者を応援します

藤岡市では、田園景観を保全しつつ、効率的な農地利用を進め、力強く持続可能な農業の実現を目指しています。農地を持っていても自分では耕作できない人、農地の借り手が見つからない人、農業を始めたい人、農業経営規模の拡大を目指す人などの間に農地中間管理機構が仲介し、農地の貸し借りをスムーズに進める農地中間管理事業に積極的に取り組んでいます。この農地中間管理事業では、県内35市町村で6位(187.7ヘクタール)と、トップクラスの貸付実績を誇っています。今後も、農業経営者が魅力と生きがいを感じられるような農業経営の実現を応援していきます。

イチゴづくりの面白さに引かれ、令和3年秋、新規就農しました。自分のハウスでのイチゴ栽培が軌道に乗ったら、イチゴの加工品など、6次産業にもチャレンジしたいと思っています。



今井 智子さん
IT企業の会社員からイチゴ農家へ転身。令和2年春から、イチゴづくりのノウハウを学んだ。